DENON

AM-FM STEREO RECEIVER

DRA-F102

取扱説明書

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

総目次

ご使用になる前に

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

システムリモコン（RC-1034）……1個	単4形乾電池……2本
FMアンテナ……1本（コードの長さ：約1.5m）	AMループアンテナ……1個

取扱説明書（本書） ……1冊
製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表 ……1枚
保証書【梱包箱に添付】

安全上のご注意

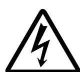
正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。


この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

【絵表示の例】


△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

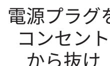

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。


●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

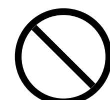

電源プラグをコンセントから抜け

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

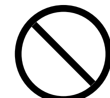
水が入ったり、濡らしたりしないように


雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

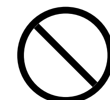
ご使用は正しい電源電圧で


表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない


通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

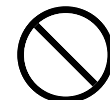
電源コードは大切に


電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない


内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

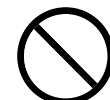
ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で


接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。
また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアードライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。

雷が鳴り出したら


電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

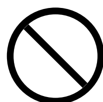
乾電池は充電しない


電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 警告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

落としたり、キャビネットを破損した場合は



まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

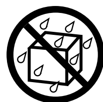
■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない


水場での
使用禁止

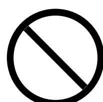
火災・感電の原因となります。

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない



こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない

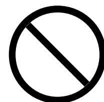


万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

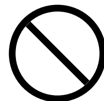
■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近付けない



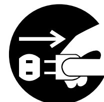
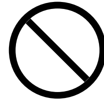
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

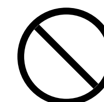
電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

《ご使用になる前に》

電池を交換する場合は

極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する



テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したり、ケーブルを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする



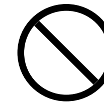
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わない

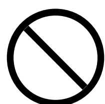


スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意 つづき

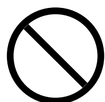
■ 置き場所について

次のような場所には置かない



火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

不安定な場所に置かない



ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

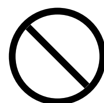
壁や他の機器から少し離して設置する



壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

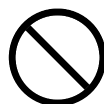
■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない



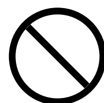
内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない



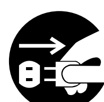
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

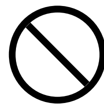
重いものをのせない



機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

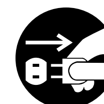




まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルなど外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

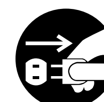
長期間の外出・旅行の場合は



安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は



安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を



販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。
なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

ステレオ音のエチケット

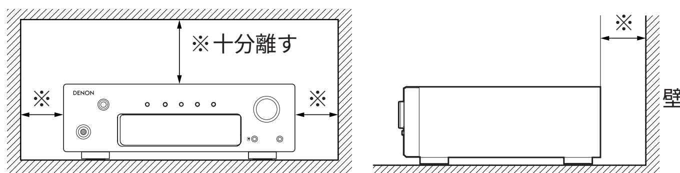


- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

取り扱い上のご注意

設置の際のご注意

◎ 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の機器などとは十分に離して設置してください。



携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れたところでご使用ください。

お手入れのしかた

◎ キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

◎ ベンジン、シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますのでご使用にならないでください。



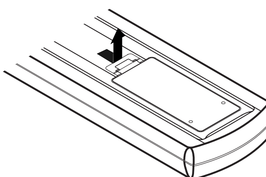
- 本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

リモコンについて

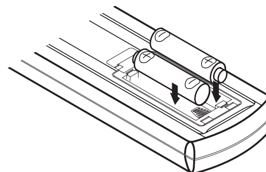
付属のリモコン（RC-1034）は、本機の操作以外にF102シリーズの機器を操作することができます（☞ 8ページ）。

乾電池の入れかた

① 矢印のように押して引き上げる。



② 単4形乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れる。



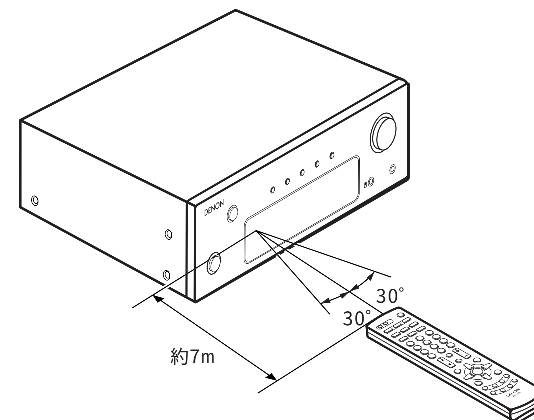
③ 裏ぶたを元通りにする。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4形乾電池をご使用ください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜてご使用にならないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。

リモコンの使いかた

- リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。
- F102シリーズの機器を接続してご使用になるときは、本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 左右30 °までの範囲で約7m離れたところまで使用できます。



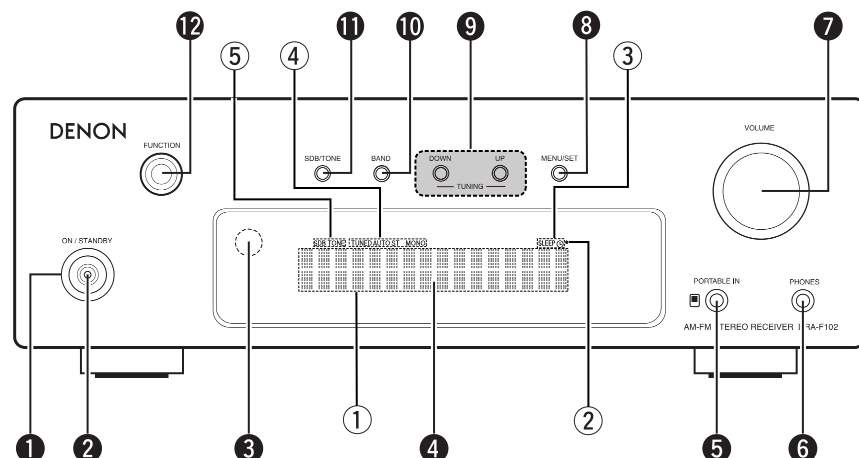
ご注意

リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（　）内のページをご覧ください。

フロントパネル



❶ **電源スイッチ（ON/STANDBY）**…(15)
❷ **電源表示**………………………………(15)
❸ **リモコン受光部**…………………………(6)
❹ **ディスプレイ**……………………………(7)
❺ **ポータブル入力ジャック（PORTABLE IN）**…………………(14)
❻ **ヘッドホンジャック（PHONES）**
- 市販のヘッドホンでお楽しみいただくときに使用します。
  ヘッドホンプラグを差し込むと、音声はヘッドホンからのみ聞こえます。

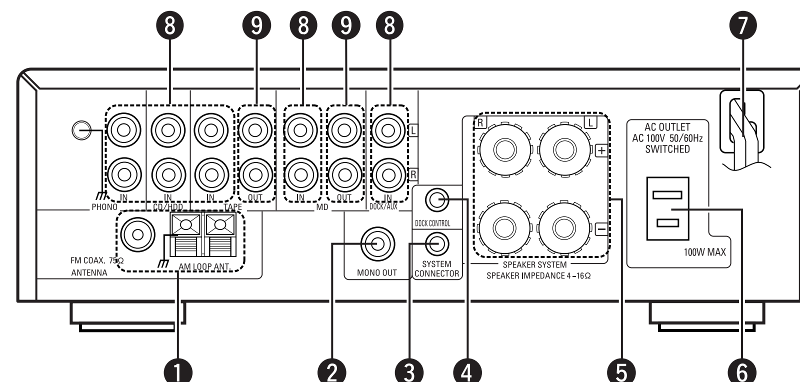
❼ **音量調節つまみ（VOLUME）**……(15)
❽ **メニュー/セット（MENU/SET）**……(17〜20, 23〜25)
❾ **チューニングボタン（TUNING）**……………………(16, 17)
❿ **バンドボタン（BAND）**…………………(16, 17, 119)
⓫ **スーパーダイナミックバス/トーンコントロールボタン（SDB/TONE）**………………………(15)
⓬ **ファンクション切り替えつまみ（FUNCTION）**………………………(15)

ディスプレイ

① **インフォメーションディスプレイ**
動作モードにより、色々な表示をします。
- ファンクション　● 時計
- ラジオ放送局名
- チューナープリセット名
- 音量レベル　● 各音質レベル

② **リモコン信号受信表示**
③ **タイマー動作表示**
④ **チューナー受信モード表示**
⑤ **音質表示**
- **SDB**：スーパーダイナミックバスが“ ON ”のときに点灯します。
- **TONE**：音質（低音/高音）を調整しているときに点灯します。

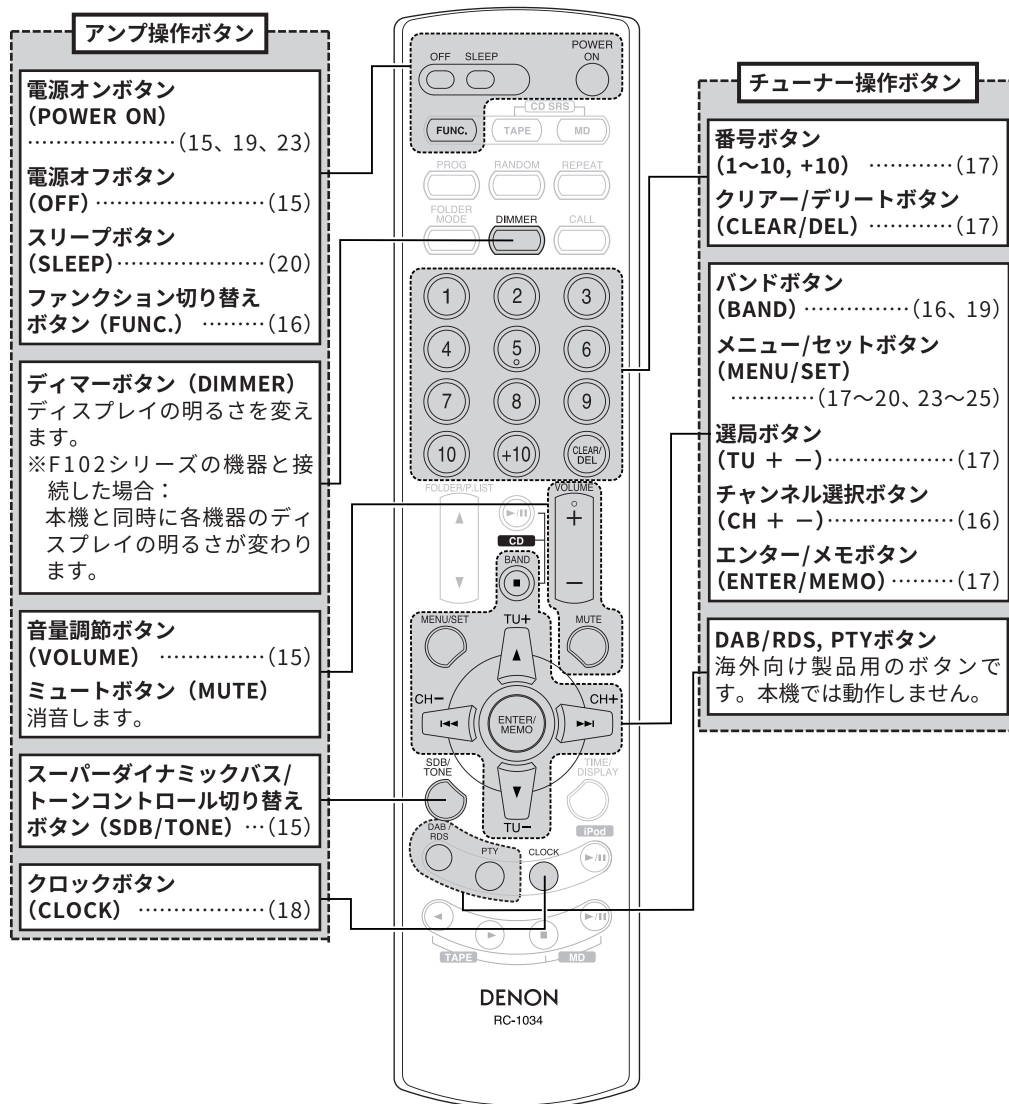
リアパネル



❶ **アンテナ端子（ANTENNA）**………………………(13)
❷ **モノラル出力端子（MONO OUT）**………………………(12)
❸ **システム端子（SYSTEM CONNECTOR）**………(11)
❹ **ドックコントロール端子（DOCK CONTROL）**………………(14)
❺ **スピーカー端子（SPEAKER SYSTEM）**……………(12)
❻ **ACアウトレット（AC OUTLET）**……………………(11)
❼ **電源コード**……………………………(11)
❽ **アナログ入力端子（IN）**……………(11)
❾ **アナログ出力端子（OUT）**…………(11)

リモコン【システムリモコン】

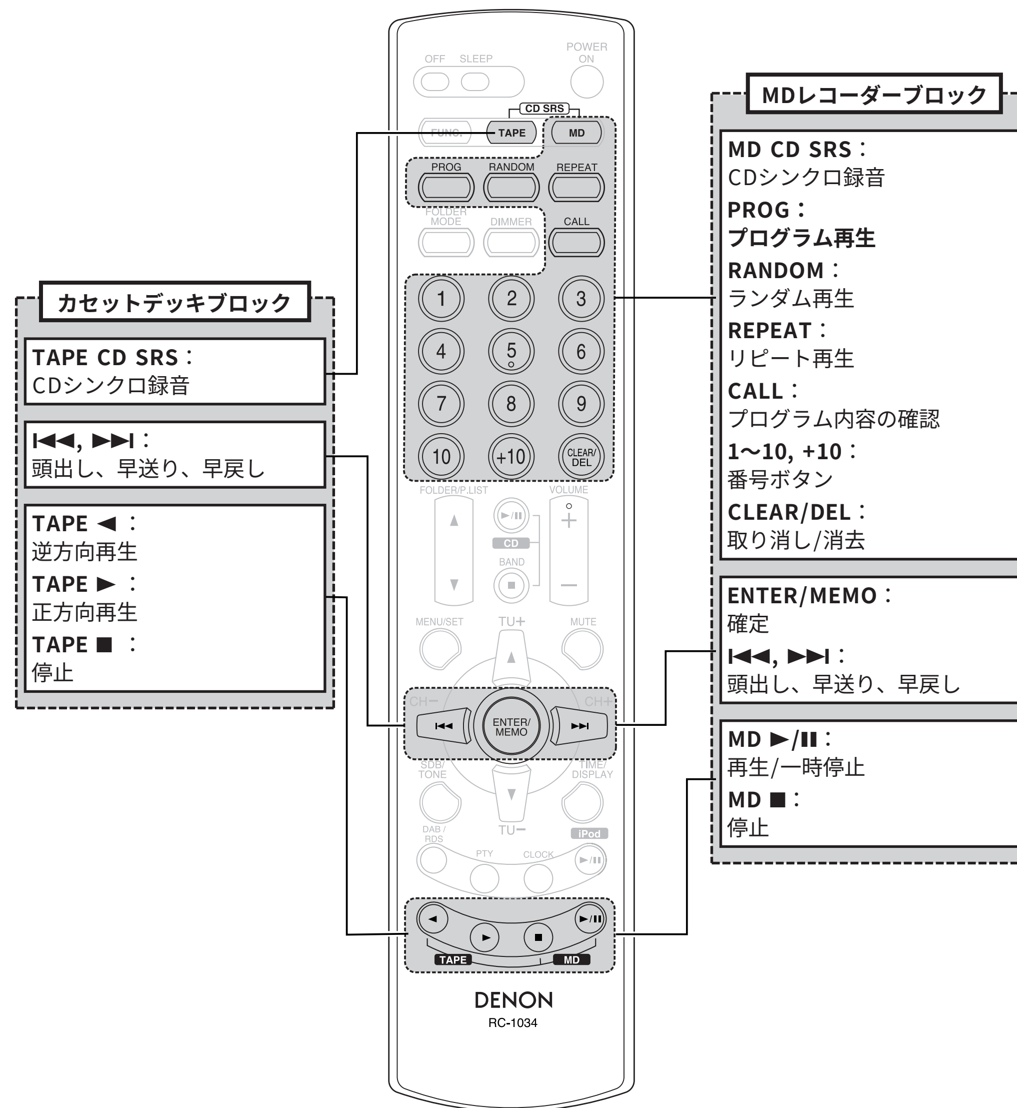
- 本機のファンクションによって、リモコンのはたらきが変わります。
- 下記は、本機の操作ボタンです。



※ 説明のないボタンは、本機以外のF102シリーズ機器用の操作ボタンです。

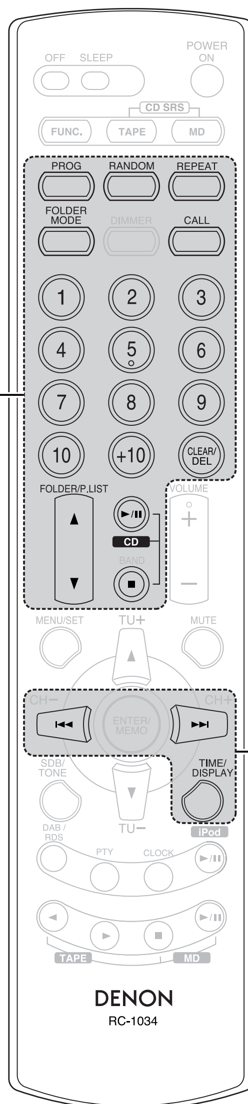
❑ 本機以外の操作ボタンについて

各部のはたらきなど詳しい説明については、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



CDプレーヤーブロック

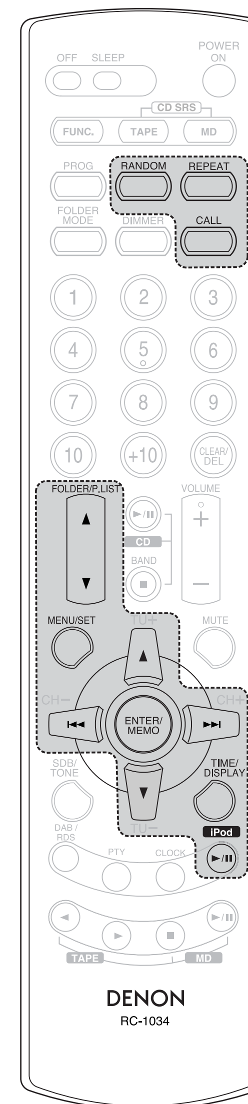
PROG：
プログラム再生
RANDOM：
ランダム再生
REPEAT：
リピート再生
FOLDER MODE：
フォルダーモード選択
CALL：
プログラム内容の確認
1〜10, +10：
番号ボタン
CLEAR/DEL：
取り消し/消去
FOLDER：
フォルダー選択
CD ►/❚❚：
再生/一時停止
CD ■：
停止



⏮, ⏭：
頭出し、早送り、早戻し
TIME/DISPLAY：
時間表示の切り替え

iPodブロック

- 本機とiPodを接続する際は、専用のiPod用コントロールドック（ASD-1R、別売り）をご使用ください（☞ 14ページ）。
- iPodの再生モードには、BrowseモードとRemoteモードがあります。詳しくは、「iPod®を再生する」（☞ 21ページ）をご覧ください。

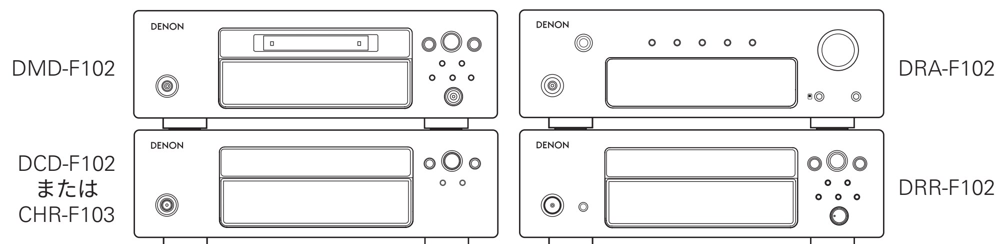


RANDOM：
シャッフルモードの切り替え
REPEAT：
リピートモードの切り替え
CALL：
BrowseモードとRemoteモードの切り替え

FOLDER/P.LIST：
プレイリストの選択
（Remoteモードのみ）
MENU/SET：
メニューの呼び出し
※ iPod本体のMENUボタンと同じ操作ができます。
▲, ▼：
カーソル移動（上/下）
※ iPod本体のクリックホイールと同じ操作ができます。
⏮, ⏭：
頭出し、早送り、早戻し
※ iPod本体の⏮、⏭ボタンと同じ操作ができます。
ENTER/MEMO：
確定
※ iPod本体のセンターボタンと同じ操作ができます。
TIME/DISPLAY：
時間表示の切り替え
（Browseモードのみ）
iPod ►/❚❚：
再生/一時停止
※ iPod本体の►❚❚ボタンと同じ操作ができます。

推奨するシステム配置のしかた

F102シリーズの機器を接続する際は、性能や安全性を確保するため、下記のように配置してください。



ご注意

- 放熱のため、レシーバーの通風孔をふさがないように十分離して配置してください。
- レシーバーの上に他の機器を直接配置しないでください。
- 安全性確保のため、機器の積み重ねは3段までにしてください。

接続のしかた

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 電源を入れたまま接続すると、雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 電源コードや接続ケーブルを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因になることがあります。
- 各機器間のすべての接続ケーブルをしっかりと接続してください。不完全な接続をおこなうと、正しく動作しません。
- 接続の変更は、必ず電源コードを抜いてからおこなってください。動作中におこなうと、誤動作の原因になります。
- 本機のACアウトレットへは、オーディオ機器の電源プラグを差し込み、ドライヤーなどオーディオ機器以外の電源としてはご使用にならないでください。本機に接続した機器（CDプレーヤー、カセットデッキ、MDレコーダーなど）の電源プラグを差し込んでおくと便利です。
- PHONO入力端子にレコードプレーヤーを接続せずに音量を上げないでください。ハムや雑音の原因になります。

接続ケーブルの表示

下記に示す接続ケーブルを使用して接続してください。

オーディオケーブル

A アナログ接続（ステレオ）
(白)
(赤)
L R
ピンプラグケーブル

B アナログ接続（モノラル、サブウーハー用）
ピンプラグケーブル

C 光デジタル接続
光伝送ケーブル

D アナログ接続（ステレオ）
ステレオミニプラグケーブル

E スピーカー接続
＋ －
スピーカーケーブル

F システム接続
システムケーブル

信号方向

オーディオ信号：
IN OUT OUT IN

《接続のしかた》

接続のしかた【システム接続】

F102シリーズの各機器をシステムケーブル（右図の F ）で接続することにより、システム操作ができます（☞ 22ページ）。



- 本機がすべてのシステム操作をコントロールしています。
- F102シリーズ以外の機器を接続することもできます。
  この場合、システム操作はできません。

ご注意

- 本機のACアウトレットに接続できる機器の合計消費電力は、100Wまでです。それ以上の機器は接続しないでください。
- 本機のACアウトレットに接続された機器の電源は、本機の電源スイッチと連動します。
- 時刻表示中以外のスタンバイ時は、ACアウトレットから電源を供給しません。
- 本機に接続コードは付属しておりません。接続の際は、各機器に付属の接続コードをお使いください。

レシーバー
【DRA-F102】
（本機）

MDレコーダー
【DMD-F102】
（別売り）

必ず壁の電源コンセントに差し込んでください。

壁の電源コンセント
AC 100V, 50/60Hz

A A F A C F

カセットデッキ
【DRR-F102】
（別売り）

CDプレーヤー
【DCD-F102】
（別売り）

または

CD/HDD
プレーヤー
【CHR-F103】
（別売り）

F

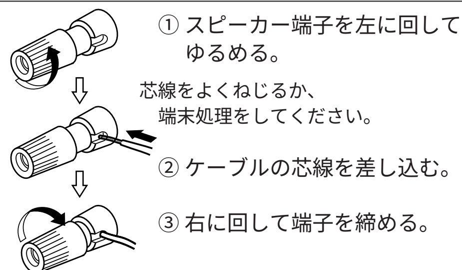
スピーカーの接続

本機のスピーカー端子とスピーカーは、必ず同じ極性（⊕と⊕、⊖と⊖）を接続してください。

ご注意

- 接続の際、スピーカーケーブルの芯線が端子からはみだして他の端子に接触しないようにご注意ください。また、スピーカーケーブルの芯線どうし、および芯線がリアパネルやねじに接触しないようにご注意ください。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

スピーカーケーブルの接続

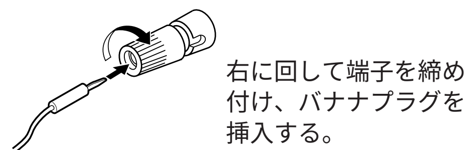


① スピーカー端子を左に回してゆるめる。

② ケーブルの芯線を差し込む。

③ 右に回して端子を締める。

バナナプラグの接続



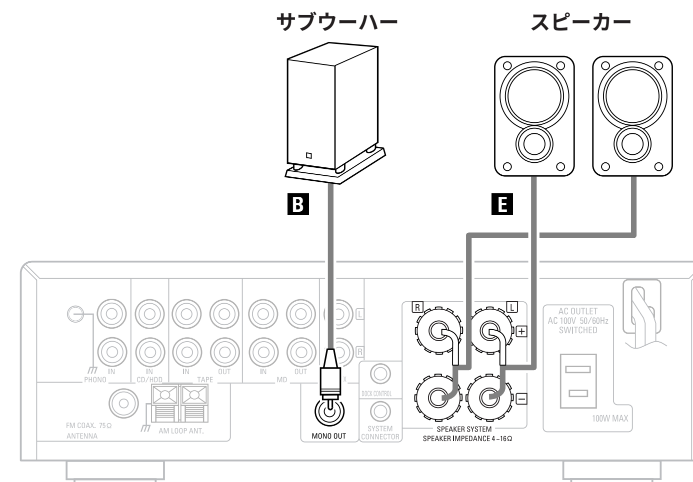
右に回して端子を締め付け、バナナプラグを挿入する。

❑ スピーカーのインピーダンスについて

インピーダンスが4～16 Ωのスピーカーをご使用ください。

スピーカーインピーダンスのご注意

指定されたインピーダンス以下のスピーカー（例：3 Ω）を使用して、長時間大音量で再生すると、温度が上昇して保護回路が動作します。
保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源スイッチがオレンジ色で点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてから本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。また、スピーカーケーブルや入力ケーブルの配線を確認してください。その後、もう一度電源コードを挿入して、本機の電源を入れ直してください。
本機の周囲の通風や配線に問題がないのにも関わらず保護回路が動作してしまう場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、弊社お客様相談窓口または修理相談窓口にご連絡ください。

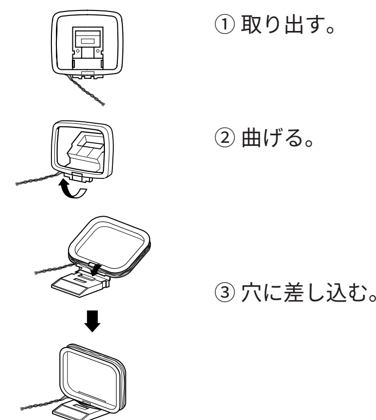




- SC-F102/F103（別売り）をご使用になる場合は、本機の最適化フィルターのご使用をおすすめします（☞ 26ページ）。

付属のアンテナの接続

AMループアンテナの組み立てかた

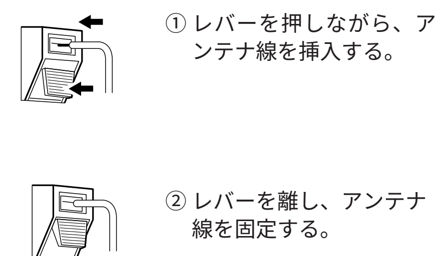


① 取り出す。

② 曲げる。

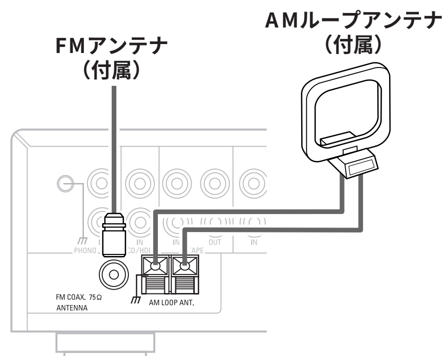
③ 穴に差し込む。

AMループアンテナの接続



① レバーを押しながら、アンテナ線を挿入する。

② レバーを離し、アンテナ線を固定する。



❏ アンテナの設置方法について

① 放送を受信する（☞ 16ページ）。
② 音を聞きながらアンテナを移動させ、最も雑音が少ない位置を探す。
③ アンテナを設置する。

- FMアンテナはアンテナの先端をテープなどで固定してください。

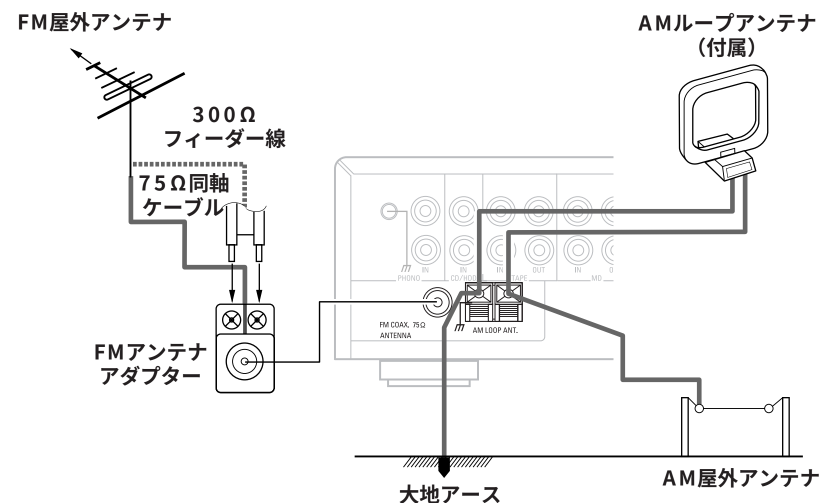
ご注意

- 本機のアース端子（⏚）はAMループアンテナのアースで、安全アースではありません。
- AMループアンテナが金属部分に接近していると、AM放送を良好に受信することができません。

《接続のしかた》

屋外アンテナの接続

屋外アンテナをご使用になると、より良好な受信をおこなうことができます。



❏ 屋外アンテナを立てる場所について

- 最も良く受信できるところに立ててください。
- 自動車や電車の影響を受けないよう、道路や線路から離して立ててください。

ご注意

- 送電線の下には立てないでください。送電線がアンテナに触れると大変危険です。
- 落雷の恐れがありますので、あまり高いところには立てないでください。
- ガス管に接続して大地アースをとるのは大変危険です。絶対に接続しないでください。

❏ FM屋外アンテナの接続について

- 他の機器からの影響を受けにくい75Ω同軸ケーブルのご使用をおすすめします。
- 付属のFMアンテナは、必ず外してください。



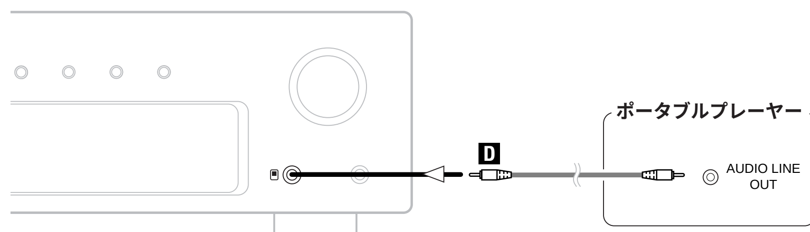
- FMアンテナアダプターは、本機のアンテナ端子に合ったもの（市販）をご使用ください。
- アンテナケーブルのFMアンテナアダプターへの接続については、FMアンテナアダプターの取扱説明書をご覧ください。

❏ AM屋外アンテナの接続について

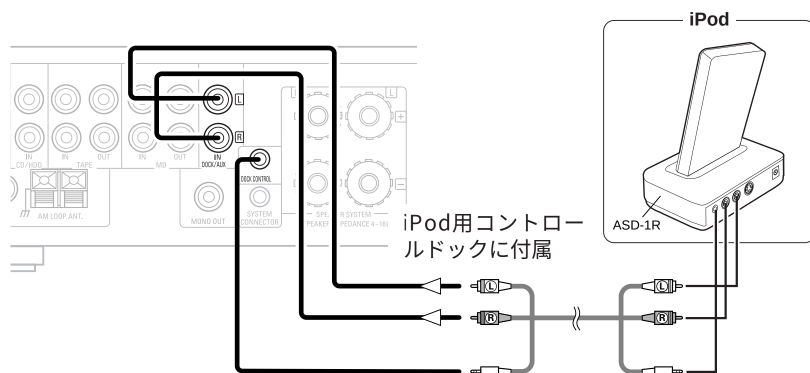
- 必ず大地アースを、アース端子（⏚）に接続してください。
- 付属のAMループアンテナも、必ず接続してください。

F102シリーズ以外の機器との接続

ポータブルプレーヤーの接続



iPod®の接続

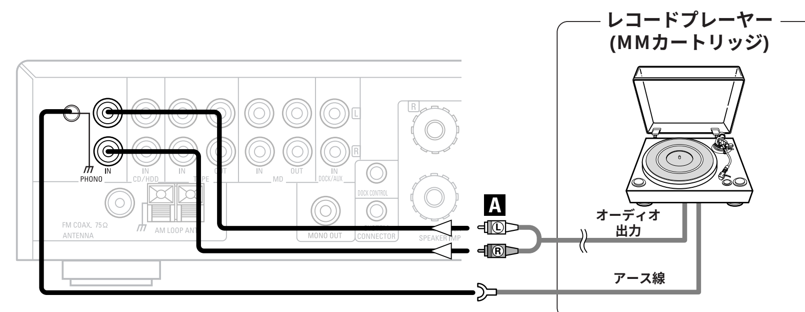




- 本機とiPodを接続する際には、専用のiPod用コントロールドック（ASD-1R（別売り））をご使用ください。
- 専用のiPod用コントロールドック（別売り）を接続するときは、専用のiPod用コントロールドックに付属のシステムケーブルをご使用ください。
- 専用のiPod用コントロールドック（別売り）を接続すると、ファンクション表示は“ AUX ”から“ iPod ”になります。



レコードプレーヤーの接続



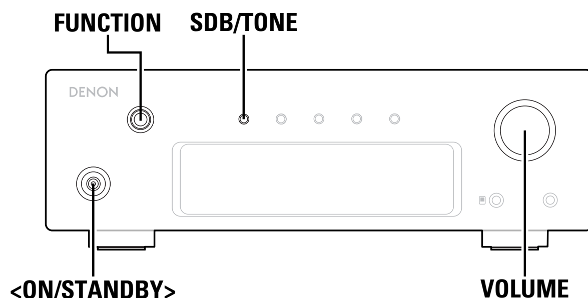


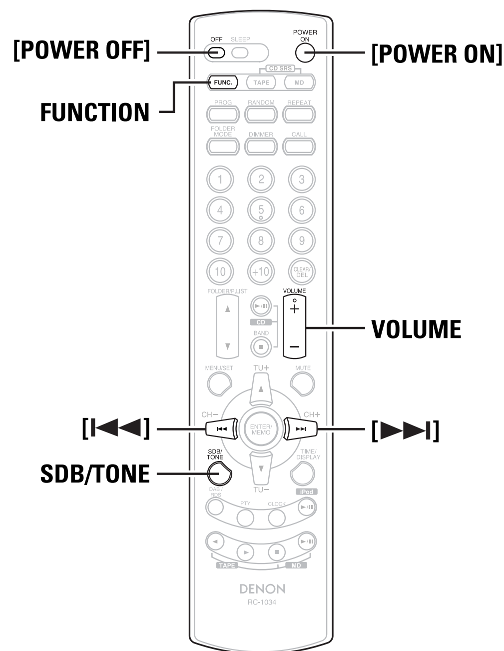
- アース線を接続することによって雑音が出るときは、アース線を接続しないでください。
  アース線の接続については、レコードプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

本機のアース端子（ ⏚ ）は、安全アースではありません。

操作のしかた





【操作説明のボタン名について】

< >：	本体のボタン
[ ]：	リモコンのボタン
ボタン名のみ：	本体とリモコンのボタン

電源を入れる

<ON/STANDBY> または［POWER ON］を押す。

※ 電源を入れると、前回使用していたときのファンクションになります（ラストファンクション機能）。

❑ 電源を切る（スタンバイ状態にする）とき：
もう一度 **<ON/STANDBY>** を押す。または **[POWER OFF]** を押す。

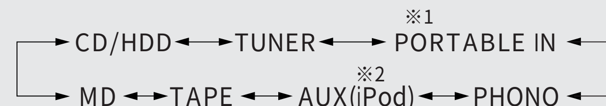


● 電源表示について
電源ON・・・・・・・・・・・・緑色
スタンバイ状態 ・・・・・・・・赤色
低待機電力モード※ ・・・・・消灯
タイマースタンバイ状態 ・・・オレンジ色

※低待機電力モード時にすべての表示が消灯していても微量な電力を消費しています。

再生をおこなう

1 FUNCTION で入力ファンクションを選ぶ。



● **<FUNCTION>** を左右に回すことにより、ファンクションを選ぶことができます。

※1：ポータブルプレーヤーを接続しているときのみ“ PORTABLE IN ”を選ぶことができます。
※2：iPod用コントロールドックを接続すると、表示は“ iPod ”になります。

2 機器の再生をはじめる。

※ 操作のしかたは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。

3 VOLUME で音量を調節する。

ご注意
必ず接続した機器とファンクションを合わせてください。

音質を調節する

1 SDB/TONE で調節する音質を選ぶ。



SDB：	重低音を強調します。
BASS：	低音を調節します。
TREBLE：	高音を調節します。
BALANCE：	左右の音量バランスを調節します。
S. DIRECT：	フラットな音で再生します。

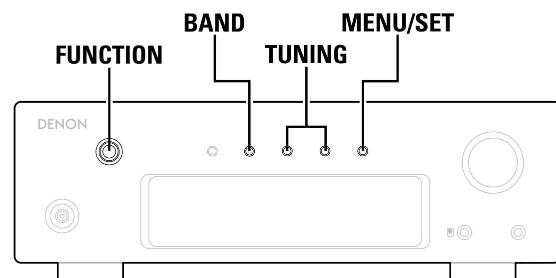
2-1 重低音を強調するとき：
“ SDB ON／OFF ”の表示中に［I◀◀］または［▶▶I］で“ ON ”または“ OFF ”を選ぶ。

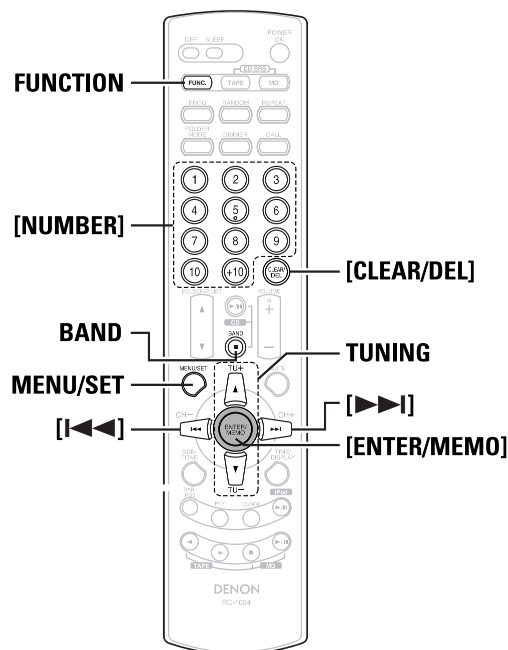
2-2 低音または高音を調節するとき：
“ BASS ”または“ TREBLE ”のレベルの表示中に［I◀◀］または［▶▶I］で調節する。

2-3 左右の音量バランスを調節するとき：
“ BALANCE ”の表示中に［I◀◀］または［▶▶I］で調節する。



●“ S.DIRECT ”を選ぶと、音質がフラットになります。
音質を調節するときは、“ S.DIRECT ”以外のモードを選んでください。

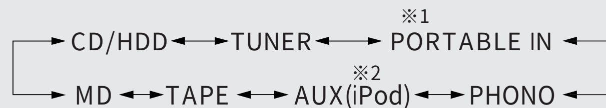




【操作説明のボタン名について】
＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

録音をおこなう

1 FUNCTION　で録音するソースのファンクションを選ぶ。



- ＜FUNCTION＞ を左右に回すことにより、ファンクションを選ぶことができます。

※1：ポータブルプレーヤーを接続しているときのみ“ PORTABLE IN ”を選ぶことができます。
※2：iPod用コントロールドックを接続すると、ファンクション表示は“ AUX ”から“ iPod ”になります。

2 カセットデッキまたはMDレコーダーを録音状態にする。

※ 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ソースの再生をはじめる。

※ 操作のしかたは、再生機器の取扱説明書をご覧ください。



- 音量や音質を調節しても、録音状態には影響がありません。

ラジオ放送局を選ぶ

1 FUNCTION で“ TUNER ”を選ぶ。
- 受信周波数を表示します。

2 BAND で、受信バンドを選ぶ。



3 TUNING で放送局を受信する。
- 受信すると、“ TUNED ”が点灯します。

❑ FM放送の受信状態の表示について
- ステレオ放送を受信すると、“ ST ”表示が点灯します。（受信バンドのモードが“ FM AUTO ”のとき）
- 電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、受信バンドのモードを“ FM MONO ”にしてモノラル受信にしてください。“ MONO ”の表示が点灯します。

❑ オートチューニングについて
TUNING を押し続けると、自動的に放送局をサーチして受信します。
但し、電波が弱い放送局は受信できません。

- **オートチューニングを止めるとき：**
TUNING を押す。

❑ マニュアルチューニングについて
TUNING を押すたびに、受信周波数が変化します。



- AM放送を受信しているときに近くでテレビなどをご使用になると、“ ピー ”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。
- 本機ではラジオ放送以外に、テレビの音声（モノラル）を受信することができます。

※ 本機で受信できるテレビの周波数は、以下の通りです。
1チャンネル：　95.75MHz
2チャンネル：101.75MHz
3チャンネル：107.75MHz

受信した放送局に名前を付けてプリセットする

● FM放送局とAM放送局を合わせて、最大40局までプリセットできます。
● プリセットした放送に8桁までの名前を付けることができます。

1 放送局を受信する（☞ 16ページ）。
● 受信周波数を表示します。

2 MENU/SET を3回押す。
● 名前入力モードになります。

3 ［I◀◀］または［▶▶I］で文字を選ぶ。

※ 最大8文字まで入力できます。
入力できる文字は、以下の通りです。

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
^ ' ( ) ＊ + , – . / = （スペース）

※ カーソルを移動するときは、**TUNING** を押してください。
※ 文字を削除するときは、**［CLEAR/DEL］**を押してください。

4 ［ENTER/MEMO］を押す。

5 ［I◀◀］または［▶▶I］でプリセット番号を選び、［ENTER/MEMO］を押す。
● 受信周波数と受信モードをプリセットします。

❑ 放送局名を変更するとき：
① 変更したい放送局名を呼び出し、**MENU/SET** を3回押す。
②「受信した放送局を名前を付けてプリセットする」の操作 ***3, 4*** をおこなう。

❑ プリセットのみをおこなうとき：
① 放送局を受信中に［**ENTER/MEMO**］を押す。
“ MEMO ” 表示が点滅します。
②「受信した放送局を名前を付けてプリセットする」の操作 ***5*** をおこなう。

ご注意
すでにプリセットしてある番号にプリセットすると、古いプリセット内容は消去されて、新しい内容がプリセットされます。

放送局を自動的にプリセットする
（オートプリセット）

1 FUNCTION で “ TUNER ” を選ぶ。
● 受信周波数を表示します。

2 MENU/SET を長押しする。
●“ AUTO PRESET ” を表示します。

3 MENU/SET を押す。
● 放送局を自動的にプリセットします。



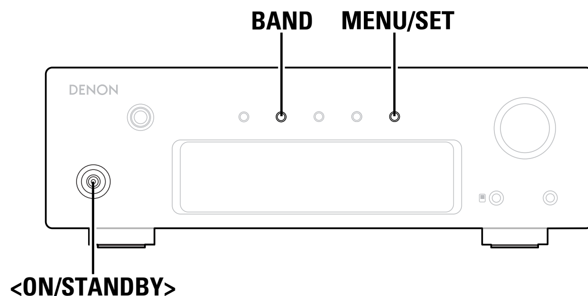
● アンテナの電波が弱い放送局はオートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信し、「受信した放送局に名前を付けてプリセットする」の操作をおこなってください。

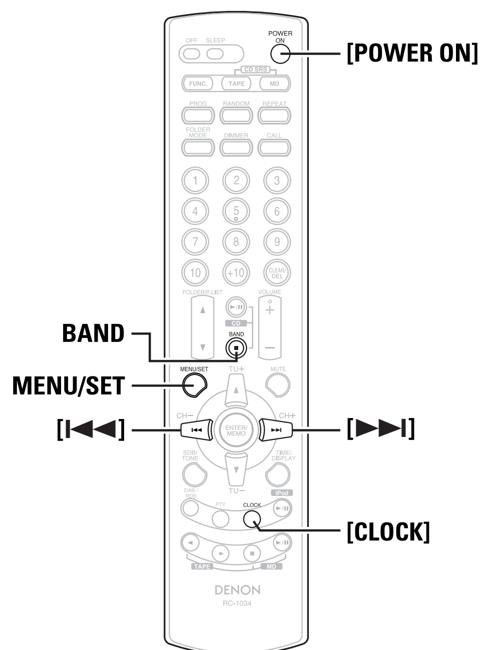
プリセットした放送局を聞く

【例】プリセット番号「3」にプリセットしたFM放送を聞くとき

［3］（NUMBER）を押す。
● プリセット番号 “ 3 ” を表示します。

※ 1〜10番目のときは、**［1］**〜**［10］**までのボタンを押してください。
11番目以上のときは、**［+10］**を押した後に**［1］**〜**［10］**までのボタンを押してください。
【例】12番目：　**［+10］［2］**
【例】20番目：　**［+10］［10］**
※ **［I◀◀］**または**［▶▶I］**でプリセット番号を選ぶこともできます。





【操作説明のボタン名について】
＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

現在時刻を合わせる

本機の時計は、24時間表示です。

【例】現在時刻を「19時30分」に合わせるとき

1 **［CLOCK］を押す。**

2 **MENU/SET を長押しする。**
- “ TIME Adj ” を表示します。
- “ 時 ” 表示が点滅します。

3 **［I◀◀］または［▶▶I］で、「時」を “ 19 ” に合わせる。**
- “ 19 ” が点滅します。

4 **MENU/SET を押す。**
- “ 分 ” 表示が点滅します。

5 **［I◀◀］または［▶▶I］で、「分」を “ 30 ” に合わせる。**
- “ 30 ” が点滅します。

6 **時報などに合わせて、MENU/SET を押す。**
- “ TIME Adj ” が消灯します。
- 現在時刻を表示します。



- 時計が未設定のときに **MENU/SET** を押すと、時刻設定モードになります。
- 現在時刻を設定すると、**［CLOCK］**で時刻を表示することができます。
- スタンバイ時は**［MENU/SET］**でも時刻を表示することができます。

ご注意

スタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

タイマー機能を使う

タイマー予約の前に

❑ タイマーの種類について

本機には、3つのタイマー機能があります。
① エブリディタイマー：
毎日設定した時刻に再生や録音ができます。
② ワンスタイマー：
1回のみ設定した時刻に再生や録音ができます。
③ スリープタイマー：
電源が切れる時間を10分間隔で最大90分まで設定できます。

❑ タイマーの優先順位について

- すべてのタイマーの予約設定時刻範囲が重なっている場合は、スリープタイマーを優先します。
- エブリディタイマーとワンスタイマーの予約設定時刻範囲が重なっている場合は、ワンスタイマーを優先します。

❑ 停電になったとき

- 電源を入れて、もう一度現在時刻を合わせてください（☞ 18ページ）。
- タイマーの予約内容は消去されます。もう一度タイマー予約をおこなってください。
- チューナーのプリセット内容が消去されてしまう場合があります。そのときは、プリセットをし直してください。

エブリディタイマーまたはワンスタイマーを予約する

- 必ず現在時刻を設定してください（☞ 18ページ）。
- タイマー機能を使用してFM放送やAM放送を聞くときは、必ず放送局をプリセットしてください（☞ 17ページ）。

【例】エブリディタイマーでプリセット番号「3」を聞くとき

1 **MENU/SET を1回押す。**
- “ TIMER ” が点滅表示します。

2 **［I◀◀］または［▶▶I］で “ EVERYDAY ” を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
< EVERYDAY >

3 **［I◀◀］または［▶▶I］で “ TUNER ” を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
E< TUNER >

4 **［I◀◀］または［▶▶I］でプリセット番号 “ 3 ” を選び、MENU/SET を押す。**
- プリセットした内容を記憶します。

5 **「現在時刻を合わせる」（☞ 18ページ）の操作 *3* ～ *5* をおこない、タイマーの開始時刻を設定する。**

6 **「現在時刻を合わせる」（☞ 18ページ）の操作 *3* ～ *5* をおこない、タイマーの終了時刻を設定する。**

7 **［I◀◀］または［▶▶I］で、“ 1_off/E_on ” を選び、MENU/SET を押す。**
- タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” が点灯し、タイマー予約が完了します。

※ 詳しくは、「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について」（☞ 20ページ）をご覧ください。

8 **＜ON/STANDBY＞または［POWER OFF］を押す。**
- 電源がスタンバイ状態になり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

※ タイマーの開始時刻になると、タイマー動作をおこないます。

❑ タイマー設定中に設定を間違えたとき：
① 操作 *3* ～ *6* の間に **BAND** を押す。
② **MENU/SET** で修正する項目を選び、正しく設定する。
③ **MENU/SET** を押して、操作 *7* まで進む。

❑ タイマーの予約内容を確認するとき：
① 左記の操作 *1*、*2* をおこなう。
② **MENU/SET** をくり返し押す。

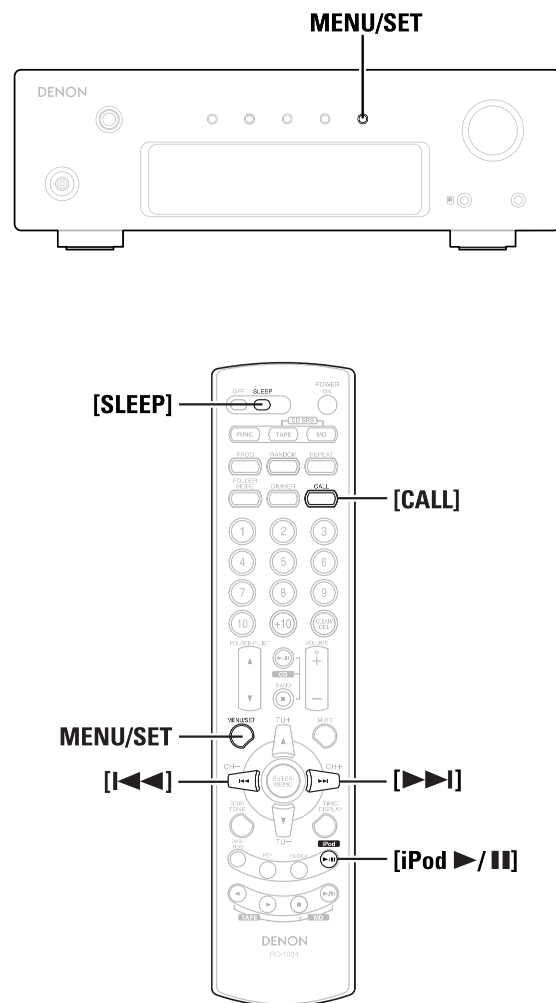
❑ タイマーの予約内容を変更するとき：
変更したい内容で、左記の操作 *1* ～ *8* をおこなう。
タイマーの予約内容が新しい内容に変わります。
※ タイマー予約の途中で変更するときは、**BAND** を押してから左記の操作 *3* ～ *8* をおこなってください。

❑ タイマーの予約内容を消去するとき：
① 左記の操作 *1*、*2* をおこなう。
② “ EVERYDAY ” または “ ONCE ” が表示されているときに、**BAND** を長押しする。

❑ タイマー予約を止めるとき：
「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について」（☞ 20ページ）の操作 *2* で “ 1_off/E_off ” を選ぶ。

《操作のしかた》

ご注意
- 現在時刻が設定されていない場合、タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” は点灯しません。
- タイマー予約されているときに、タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” が点灯します。
- タイマー動作をおこなうときは、必ず電源をスタンバイ状態にしてください。



【操作説明のボタン名について】

＜　　＞：	本体のボタン
［　　］：	リモコンのボタン
ボタン名のみ：	本体とリモコンのボタン

エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について

「エブリディタイマー/ワンスタイマーを予約する」（☞ 19ページ）でタイマー予約を完了した後、タイマー動作をおこなうタイマーを選びます。

1 MENU/SET を2回押す。
- 現在の設定内容を表示します

2 ［I◀◀］または［▶▶I］でタイマー動作をおこなうタイマーを選ぶ。

1 _ off / E _ off :	ワンスタイマーとエブリディタイマーが動作しない。
1 _ on / E _ on :	ワンスタイマーとエブリディタイマーが動作する。
1 _ off / E _ on :	エブリディタイマーのみ動作する。
1 _ on / E _ off :	ワンスタイマーのみ動作する。

※ エブリディタイマーのみ予約した場合に［I◀◀］または［▶▶I］を押すと、以下のように切り替わります。

1 _ off / E _ on ◀▶ 1 _ off / E _ off

※ ワンスタイマーのみ予約した場合に［I◀◀］または［▶▶I］を押すと、以下のように切り替わります。

1 _ off / E _ off ◀▶ 1 _ on / E _ off

3 メニュー表示が消えるまで MENU/SET をくり返し押す。

❑ タイマー動作をおこなわないとき：

［I◀◀］または［▶▶I］でタイマースタンバイ表示“ ◷ ”を消灯させてください。

スリープタイマーを予約する

【例】80分後に電源を切るとき

1 再生中に［SLEEP］を押す。
- “ SLEEP ”表示が点滅します。

TUNED AUTO ST　SLEEP
FM P03 FM-DENON
SLEEP 90

2 “ SLEEP ”表示が点滅している間に［SLEEP］をくり返し押して、“ 80 ”を選ぶ。
- 約5秒後、“ SLEEP ”表示が点灯します。

※ 80分後に電源がスタンバイ状態になります。

❑ スリープタイマーを止めるとき：

［SLEEP］をくり返し押して、“ OFF ”を選ぶ。



- スリープタイマー動作中に［SLEEP］を押すと、残り時間が表示されます。
- 残り時間を表示しているときに［SLEEP］を押すと、設定時間が“ OFF ”になりますので、もう一度設定してください。

低待機電力の設定をおこなう

スタンバイ時の時刻表示時間を設定する

1 **MENU/SET で“ TIME DISPLAY ”を選ぶ。**

2 **［I◀◀］または［▶▶I］で設定する。**

10 SEC（工場出荷時）：
10秒で自動消灯

CONTINUE：
連続表示

3 **メニュー表示が消えるまで MENU/SET をくり返し押す。**

低待機電力モード（ECOモード）を設定する

1 **MENU/SET で“ ECO MODE ”を選ぶ。**

2 **［I◀◀］または［▶▶I］で設定する。**

ON（工場出荷時）：
低待機電力モード

OFF：
通常モード

※ 電源の表示については、15ページを参照してください。

3 **メニュー表示が消えるまで MENU/SET をくり返し押す。**

iPod®を再生する

iPod用コントロールドック（ASD-1R、別売り）を使用することにより、iPodの音楽を再生することができます。
iPod用コントロールドックについては、お買い上げの販売店または弊社のお客様相談窓口にお問い合わせください。

ご注意

iPodは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製や再生を許諾されたコンテンツを、個人が私的に複製や再生をおこなうために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

1 **iPod用コントロールドック（ASD-1R、別売り）と本機を接続する（☞ 14ページ）。**

2 **FUNCTION で“ iPod ”を選ぶ。**

3 **［CALL］で再生モードを選ぶ。**

Browseモード ←→ Remoteモード

Browseモード：
本機のディスプレイにメニューや曲情報を表示します。
（iPod本体のディスプレイに、“ DENON ”が表示されます。）

Remoteモード：
iPod本体のディスプレイにメニューや曲情報が表示されます。
（本機のディスプレイに、“ Remote iPod ”を表示します。）

※ スライドショーやビデオなどiPodの映像を楽しむ場合には、Remoteモードを選んでください。

4 **［iPod ▶/II］を押す。**

※ ファンクションが“ iPod ”のときに操作できるリモコンのボタンについては、9ページを参照してください。

ご注意

- iPodを本機と接続して使用しているときに、iPodのデータが万一消失あるいは損傷した場合、弊社は一切責任を負いません。
- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 本機は、日本語表示に対応しておりません。

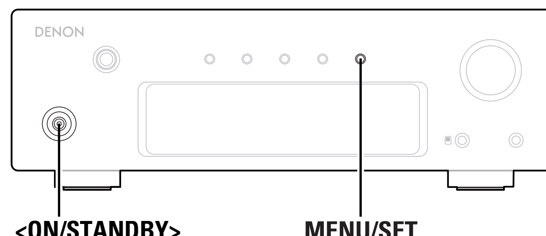
システム操作のしかた

本機をF102/F103シリーズの他の機器とご使用になることにより、CDシンクロ録音などのシステム動作をおこなうことができます。
システムケーブルでシステム接続をおこなってください（☞ 11ページ）。

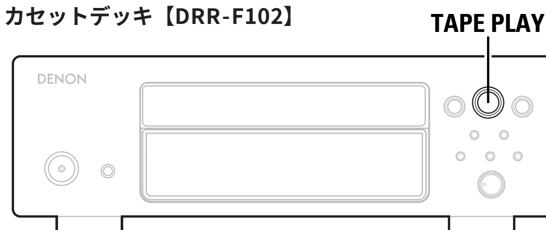
ご注意

- 本機がすべてのシステム操作をコントロールしています。
- 各機器に付属の取扱説明書も必ずお読みください。

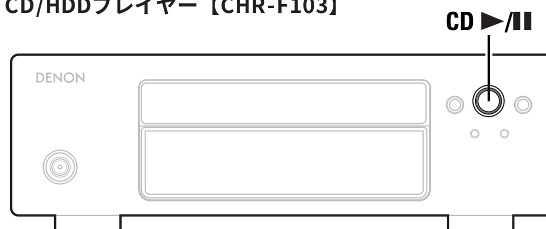
レシーバー【本機】



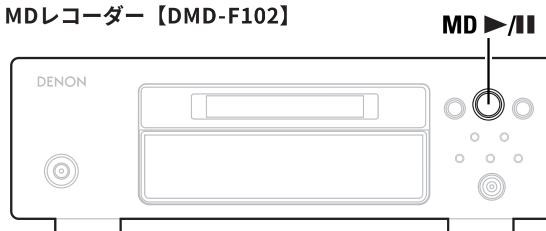
カセットデッキ【DRR-F102】



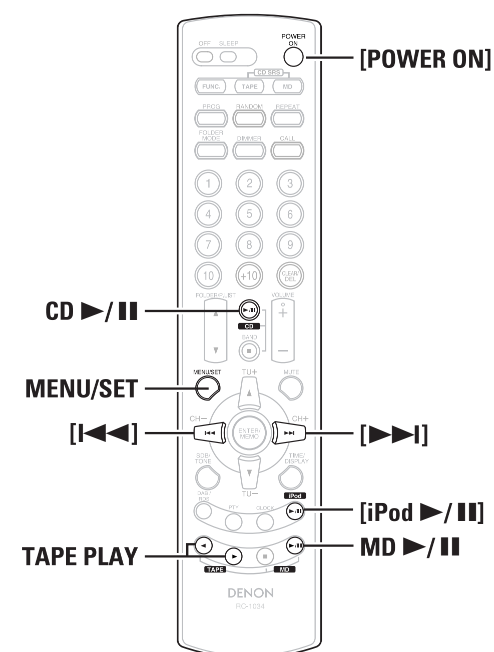
CDプレーヤー【DCD-F102】または
CD/HDDプレイヤー【CHR-F103】



MDレコーダー【DMD-F102】



システムリモコン【RC-1034】



【操作説明のボタン名について】

＜　　＞：　本体のボタン
［　　］：　リモコンのボタン
ボタン名のみ：本体とリモコンのボタン

《システム操作のしかた》

オートパワーオン機能

各機器の電源がスタンバイ状態のときに、［CD ▶/❚❚］、［MD ▶/❚❚］、［TAPE PLAY］または［iPod ▶/❚❚］を押す。

- 各機器の電源が入り、本機のファンクションが自動的に切り替わります。
- 各機器にディスクやカセットテープが入っているときは、再生をはじめます。

オートファンクション機能

本機以外の機器を再生中に、CD ▶/❚❚、MD ▶/❚❚、TAPE PLAY または［iPod ▶/❚❚］を押す。

- 再生が停止します。
- 本機のファンクションが自動的に切り替わり、再生をはじめます。

タイマー機能

- 本機のタイマー機能を使用して、設定された時間に再生や録音をおこなうことができます。
- 必ず現在時刻を設定してください（☞ 18ページ）。
- タイマー機能を使用してFM放送やAM放送を聞くときは、必ず放送局をプリセットしてください（☞ 17ページ）。
- 詳しくは、18〜20ページをご覧ください。

タイマー再生をおこなう

【例】ワンスタイマーでCDを聞くとき
あらかじめ再生をおこなうCDを入れておいてください。

1 **MENU/SET を1回押す。**
- " TIMER " が点滅表示します。

2 **［I◀◀］または［▶▶I］で " ONCE " を選び、MENU/SET を押す。**

FM P01 FM-DENON
<   ONCE   >

3 **［I◀◀］または［▶▶I］で " CD " を選び、MENU/SET を押す。**

FM P01 FM-DENON
1<   C D   >

4 **「現在時刻を合わせる」（☞ 18ページ）の操作 *3* 〜 *5* をおこない、タイマーの開始時刻を設定する。**

5 **「現在時刻を合わせる」（☞ 18ページ）の操作 *3* 〜 *5* をおこない、タイマーの終了時刻を設定する。**

6 **［I◀◀］または［▶▶I］で、" 1_on/E_off " を選び、MENU/SET を押す。**
- タイマースタンバイ表示 " ◷ " が点灯し、タイマー予約が完了します。

※ 詳しくは、「エブリディタイマー/ワンスタイマーの動作について」（☞ 20ページ）をご覧ください。

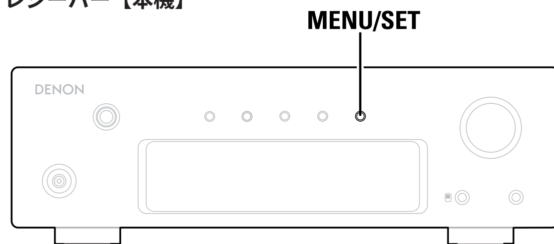
7 **本機の ＜ON/STANDBY＞ または［POWER OFF］を押す。**
- 電源がスタンバイ状態になり、本機の電源表示がオレンジ色に点灯します。

※ タイマーの開始時刻になると、CDの1曲目から再生をはじめます。

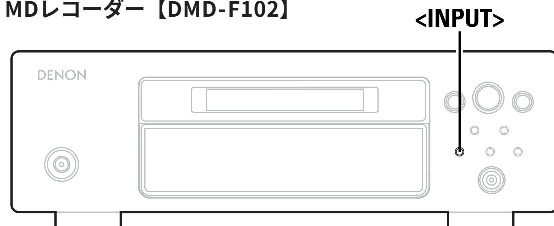
ご注意

- 現在時刻が設定されていない場合、タイマースタンバイ表示 " ◷ " は点灯しません。
- タイマー予約されているときに、タイマースタンバイ表示 " ◷ " が点灯します。
- タイマー動作をおこなうときは、必ず電源をスタンバイ状態にしてください。

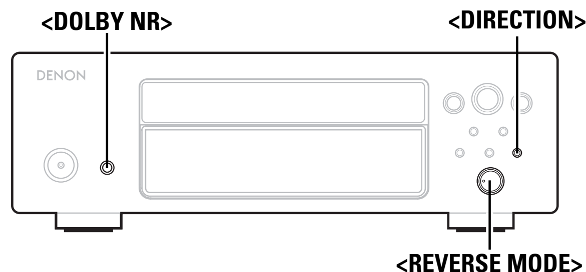
レシーバー【本機】



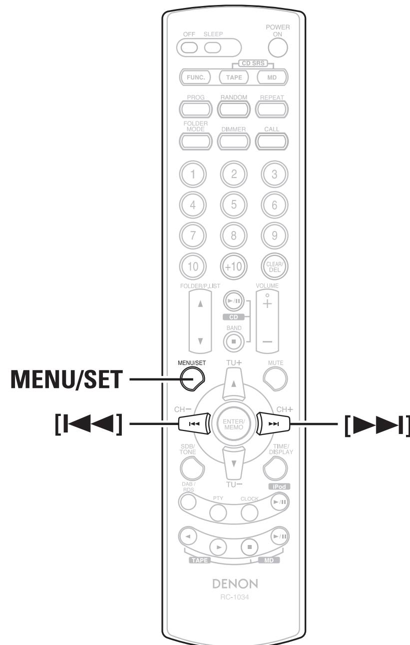
MDレコーダー【DMD-F102】



カセットデッキ【DRR-F102】



システムリモコン【RC-1034】



【操作説明のボタン名について】

＜　　＞：	本体のボタン
[　　]：	リモコンのボタン
ボタン名のみ：	本体とリモコンのボタン

タイマー録音をおこなう

【例】ラジオ放送をMDへ録音する

あらかじめ録音をおこなうMDを入れておいてください。

1 **＜INPUT＞ で “ Analog ” を選ぶ。**

2 **録音レベルの調整や録音モードの設定をおこなう。**

※ 詳しくは、MDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

3 **MENU/SET を1回押す。**

●“ TIMER ” が点滅表示します。

4 **［I◀◀］または［▶▶I］で “ EVERYDAY ” または “ ONCE ” を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
< EVERYDAY >

5 **［I◀◀］または［▶▶I］で “ TUNER→MD ” を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
E< TUNER > MD >

6 **「エブリディタイマーまたはワンスタイマーを予約する」（☞ 19ページ）の操作 *4* 〜 *8* をおこなう。**

※ タイマーの開始時刻になると、録音をはじめます。

ご注意

通常の録音をおこなう場合は、タイマースタンバイ表示 “ ◷ ” を消灯させてください。

【例】ラジオ放送をカセットテープへ録音する

あらかじめ録音をおこなうカセットテープを入れておいてください。

※ 必ず録音する面を上に向けて入れてください。

1 **＜REVERSE MODE＞ で、リバースモードを切り替える。**

2 **お好みにより ＜DOLBY NR＞ で、ドルビーノイズリダクションシステムを選ぶ。**

3 **＜DIRECTION＞ で録音方向を選ぶ。**

4 **録音レベルの調整や録音モードの設定をおこなう。**

※ 詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をご覧ください。

5 **MENU/SET を1回押す。**

●" TIMER " が点滅表示します。

6 **［I◀◀］または［▶▶I］で " EVERYDAY " または " ONCE " を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
< EVERYDAY >

7 **［I◀◀］または［▶▶I］で " TUNER→TAPE " を選び、MENU/SET を押す。**

TUNED AUTO ST
FM P01 FM-DENON
E< TUNER>TAPE >

8 **「エブリディタイマーまたはワンスタイマーを予約する」（☞ 19ページ）の操作 *4* 〜 *8* をおこなう。**

※ タイマーの開始時刻になると、録音をはじめます。

ご注意

- テープの巻きはじめは、リーダーテープなどで録音できない部分があります。録音ミスを防ぐため、番組がはじまる1分程度前の時刻に設定してタイマー録音されることをおすすめします。
- 通常の録音をおこなう場合は、タイマースタンバイ表示 " ◷ " を消灯させてください。

CDシンクロ録音機能 同期録音機能

CDを簡単にMDやカセットテープに録音することができます。操作のしかたは、MDレコーダーまたはカセットデッキに付属の取扱説明書をご覧ください。

エディット機能

- カセットテープの長さ（テープ時間）に合わせて、自動編集することができます。
- あらかじめ、CDとカセットテープを入れておいてください。

1 **各機器の ＜ON/STANDBY＞ で電源を入れる。**

2 **MENU/SET を3回押す。**

- レシーバーのディスプレイに " EDIT " を表示します。

3 **［▶▶I］でカセットテープの長さを設定する。**

【例】 60分のカセットテープをご使用になる場合は［▶▶I］で " C-60 " を選ぶ。

→ C－46 → C－60 → C－90 → C－ ─
└──── エディット解除 ────┘

（カセットテープの長さは、A面とB面を合わせた時間です。）

- カセットテープの長さを設定すると、" A面に録音する曲番と残り時間 " と " B面に録音する曲番と残り時間 " を交互に表示します。

A 01-09Tr -02:40

曲番　　残り時間

4 **CD ▶/II を押す。**

- CDの録音をはじめます。

❑ カセットテープの長さを任意に設定するとき：

" C－ " が表示されているときに、**［NUMBER］（1〜10, +10）** で時間を入力する。

【例】 54分に設定する場合
［+10］［+10］［+10］［+10］［+10］［4］

※ 99分まで設定することができます。

❑ エディット機能を止めるとき：

CD ■ または **＜TAPE ■＞** を押す。

ご注意

- エディット機能は、26曲以上収録されているディスクでは動作しません。
- エディット録音をおこなう際は、必ずカセットテープのA面を上に向けて入れてください。自動的にカセットテープの頭出しをしてから録音をはじめます。
- すでに録音されているカセットテープをご使用になる場合は、エディット録音をおこなう前に消去してください。
- エディット録音をおこなう際は、カセットデッキのリバースモードを " ⊃ " にしてください。
- 使用するカセットテープがディスクの収録時間より若干長くても、A面とB面の振り分け時間の関係ですべての曲が録音できない場合があります。録音ができない曲がある場合は、本機のディスプレイに " OVER " を表示します。
  " OVER " が表示された場合は、操作 ***3*** によりカセットテープの長さを変更してください。
- エディット機能動作中は、**＜ON/STANDBY＞**、**MENU/SET**、**［▶▶I］**、**CD ▶/II**、**CD ■**、**＜TAPE ■＞**、**［TIME/DISPLAY］** 以外のボタンは操作できません。
- エディット録音では、自動的に曲間を約4秒に設定します。したがって、曲間がないCDを録音すると、曲間が空いて不自然に感じられることがあります。このような場合は、エディット録音をおこなわないでください。
- MP3やWMA形式で記録されたディスクでは、エディット録音はできません。

最適化フィルターを使用する

SC-F102/F103（別売り）の特性に合わせた最適化フィルターをご使用になることができます。

1 MENU/SET で“SPK OPTIMISE”を選ぶ。

2 ［I◀◀］または［▶▶I］で設定する。

ON：
SC-F102/F103（別売り）に最適な特性になります。

OFF：
フラットな特性になります。

3 MENU/SET を押す。

その他について

故障かな？と思ったら

❏各接続は正しいですか
❏取扱説明書に従って正しく操作していますか
❏スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もしお買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　象	原　因	処　置	関連ページ
電源を入れてもディスプレイが点灯せず、音が出ない。	●電源プラグがコンセントから外れている。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。	11
ディスプレイは点灯するが音が出ない。	●スピーカーケーブルの接続が不完全。 ●入力切り替えが不適当。 ●音量が絞ってある。	●しっかり接続してください。 ●正しい位置に接続してください。 ●適当な音量に調節してください。	12 11 15
片側だけ音が出ない。	●スピーカーケーブルの接続が不完全。 ●入力ケーブルの接続が不完全。 ●左右のバランスがずれている。	●しっかり接続してください。 ●しっかり接続してください。 ●左右のバランスを調節してください。	12 11 15
ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。	●スピーカーケーブルまたは入力ケーブルの接続が逆になっている。	●接続を確かめてください。	11
FM放送に“ザー”という雑音が入る。	●アンテナケーブルが正しく接続されていない。 ●マイコンを搭載した電子機器などから雑音が入っている。または、受信している放送局の電波が弱い。	●アンテナケーブルを正しく接続してください。 ●機器の配置や接続ケーブル、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	13 13 13
AM放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	●テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AMループアンテナの位置や向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 13 13
AM放送に“ブーン”という雑音（ハム）が入る。	●電源コードを伝わってくる電波によって妨害を受けている。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	ー 13
レコード再生のときに、音量を大きくしていくと、“ワーン”という音が出る。	●プレーヤーとスピーカーの距離が近すぎる。 ●床が柔らかく、振動しやすい。	●できるだけ離してご使用ください。 ●床を伝わってくるスピーカーの振動をクッションで吸収するようにしてご使用ください。	14 ー
リモコンを操作しても正しく動作しない。	●乾電池が消耗している。 ●リモコンの距離が離れ過ぎている。 ●本体とリモコンの間に障害物がある。 ●リモコンの操作方向の角度が正面から30°を超えている。 ●乾電池の極性が違う。	●新しい乾電池と交換してください。 ●近づいて操作してください。 ●障害物を取り除いてください。 ●本体の正面方向からリモコンを操作してください。 ●乾電池を正しく入れてください。	6 6 6 6 6
システム動作をしない。	●システムケーブルの接続が不完全。	●しっかり接続してください。	11

保証とサービスについて

1 この商品には保証書を添付しております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書を添付されない場合は、有料修理となりますので、ご注意ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

5 お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

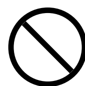
6 この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

7 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。



主な仕様

❑ レシーバー部

定格出力：	両チャンネル駆動（CD→SP OUT） 25W＋25W（JEITA　負荷8Ω、20Hz〜20kHz）
実用最大出力：	45W＋45W（JEITA　負荷4Ω）
全高調波ひずみ率：	0.05%（定格出力ー3dB時）、負荷8Ω、1kHz
出力端子：	スピーカー：負荷4〜16Ω ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合
イコライザーアンプ出力（REC OUT端子）：	定格出力　150mV
入力感度/入力インピーダンス：	PHONO（MM）：　2.5mV/47kΩ CD/HDD、DOCK/AUX、TAPE、MD：300mV/30kΩ
RIAA偏差：	PHONO：　20Hz〜20kHz±0.5dB（MM）
オーディオ入出力端子：	PHONO入力端子、CD/HDD入力端子、DOCK/AUX入力端子、PORTABLE入力端子、TAPE入出力端子、MD入出力端子、MONO出力端子、ヘッドホン出力端子
受信周波数帯域：	FM：76MHz〜108MHz　AM：522kHz〜1629kHz
受信感度：	FM：1.5μV/75Ω　AM：20μV
FMステレオ分離度：	35dB（1kHz）
FM SN比：	モノラル：74dB　ステレオ：70dB
FM高調波ひずみ率：	モノラル：0.3%　ステレオ：0.4%

❑ 時計/タイマー部

時計方式：	電源周波数同期方式（月差　±30秒以内）
タイマー：	エブリディタイマー（1系統）、ワンスタイマー（1系統）、スリープタイマー（最大90分）

❑ 特性

SN比:（Aネットワーク）：	PHONO（MM）：80dB（入力端子短絡、入力信号5mV時） CD/HDD、DOCK/AUX、TAPE、MD：90dB（入力端子短絡時）
トーンコントロール：	BASS（低域）：　100Hz±8dB TREBLE（高域）：　10kHz±8dB SDB：　100Hz＋10dB
周波数特性：	入力CD、ソースダイレクトON：5Hz〜80kHz（＋0.5dB、ー3dB）

❑ 総合

電源コンセント：	SWITCHED（連動）　1個 容量100W
電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	85W（電気用品安全法による） スタンバイ時：約0.1W（低待機電力モード時）
外形寸法：	250（幅）×73（高さ）×250（奥行き）mm（突起物を含まず） 250（幅）×82（高さ）×285（奥行き）mm（突起物を含む）
質量：	4.0 kg

❑ リモコン（RC-1034）

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単4形乾電池2本使用
最大外形寸法：	49（幅）×220（高さ）×25（奥行き）mm
質量：	120g（乾電池を含む）

※JEITA：（社）電子情報技術産業協会が制定した規格です。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30〜12：00、12：45〜17：30
（弊社休日および祝日を除く、月〜金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、
次の URL でもご確認できます。

http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。	
購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

Printed in China　00D 511 4459 306